

地域共生社会を目指すひきこもり支援

－社会福祉の役割の再検討・民間支援団体の取り組みと課題を語る－

日時：11月23日（火）13時00分～16時00分

開催方法：Zoom ライブ配信（後日見逃し配信あり）

参加料：500円 定員：200名（先着順）

申込期限：11月13日（土） 但し定員に達し次第締め切ります

見逃し配信期間：2021年12月3日（金）12時～12月13日（月）12時

ひきこもりなど社会的に孤立している人たちやその家族の支援について、これまで多くの取り組みがあり、多くの議論が積み重ねられてきました。しかし、今なお、ひきこもり人やその家族の支援が十分とは言えない現実があります。相談のたらい回し、地域社会で本人や家族が孤立してしまうという現実などは、多くの当事者・家族の声です。また、もっと充実した支援をしたいが制度の限界がある、財政的な厳しさもあるという支援窓口担当者や民間支援者の声も

聞かれます。これらの現実を、どのように捉え、どのように克服していくことができるのでしょうか。

今回の企画では、社会福祉研究者のお立場から立教大学講師の**平野方紹氏**に、また地域でひきこもりなど生きづらさを抱える人たちへの多面的な支援に取り組んでおられるNPO法人のお立場から仕事工房ポポロ理事長の**中川健史氏**に、この課題を縦横に語っていただき、**自由討論**により深めていきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染状況の推移がまだ見通せない状況でありますので、昨年同様オンライン方式によって開催する企画です。皆様のオンラインによるご参加をこころより呼びかけます。お申し込みにつきましては裏面でご確認ください。

講師・演題など

1. 中川健史氏

ひきこもる若者などの生きづらさに寄り添い、共に生きられる社会をつくる ー仕事工房ポポロの実践から見えてきたことー

2. 平野方紹氏

ひきこもりに社会福祉はどう向き合ってきたか ー社会福祉がひきこもり支援のニーズに応えるために何が必要かー

3. 自由討論 講演会参加者を含む質疑・討論

講師プロフィール

中川健史氏 NPO 法人 仕事工房ポポロ理事長

1980年より地域塾を生業としながら、80年代は主に「非行」少年たち、90年代には不登校の子どもたちと関わり始める。その中で、不登校の子どもたちと親を支える「べんぼすた」の立ち上げに関わり、2008年には、「仕事工房ポポロ」（岐阜県）を設立した。現在、不登校の会「べんぼすた」代表、「仕事工房ポポロ」理事長などを務める。共著に『『若者支援』のこれまでとこれから』かもがわ出版（2016年）がある。

平野方紹（まさあき）氏 立教大学コミュニティ福祉学部キャリア支援講師

埼玉県障害者リハビリテーションセンター指導部指導課主事、厚生労働省社会・援護局総務課社会福祉専門官などを経て、2013年より立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授（2021年退職）。共著に『貧困プログラムー行財政計画の視点からー』関西学院大学出版会（2019年）などがある。論文に「ひきこもりに社会福祉はどう対応してきたのか」社会福祉研究（鉄道弘済会：第140号・2021年）などがある。

オンライン講演会開催の概要とお申し込み方法

- 1 開催事務局：日本福祉大学心理臨床研究センター
住所：名古屋市中区千代田5丁目2番35号
メールによるお問い合わせ：shinri-kouza@ml.n-fukushi.ac.jp

企画に関するお問い合わせは次にお願ひいたします。

NPO 法人なでしこの会（フレンドシップなでしこ）

電話 052-882-1119（火・金 13:00～16:00）

メール space-friendship@chorus.ocn.ne.jp

- 2 参加申込方法と締切期日等

ゲーグフォーム QRコード



①参加申込

○ 参加申込先：ゲーグフォーム <https://forms.gle/V6hPUuGqqFEKyJLe7>

○ 参加申込情報：メールアドレス、氏名、Zoom入室時の表示名、住所、電話番号、所属先
アンダーラインは必須

○ 参加申込締切：11月13日（土）但し定員に達し次第締め切ります

②参加料は500円です。但し、ひきこもり当事者の方は無料です。申込時☑をしてください。

③参加者は、メール送受信が可能で、Zoomが利用できるPC（タブレット、スマホ）や通信環境が必要
です。

④登録いただいた個人情報は、参加費徴収委託先のNTTインターネット(株)に氏名とメールアドレス
を提供いたします。また、合同企画の運営管理および日本福祉大学心理臨床相談室・知多市社会
福祉協議会・NPO法人なでしこの会が実施する各種講座などのご案内に利用させていただくこと
があります。その他の目的には一切利用いたしません。

- 3 参加料のお支払いとその後のご案内

① お申し込み後は、**smart pit**(NTTインターネット)を利用しコンビニでお支払いください。参加費
入金のご案内がメールで届きましたら、コンビニ「ローソン」「ミニストップ」の<Loppi>、
「ファミリーマート」の<Famiポート>での操作とレジでのお支払いになります。支払い方法の
詳細は次のサイトでご確認ください。

<http://www.smartpit.jp/consumer/payment/index.html>

② 申込者には、メールアドレス宛に当企画視聴専用 Zoom ミーティングのアドレスを、前日の
11/22にお届けします。

③ 当日の資料等につきましては、参加者において各自ダウンロードをお願いいたします。ダウン
ロードの準備が出来次第、登録メールアドレス宛にダウンロードサイト（URL）をお知らせいた
します。

④ お申し込み後のキャンセルは、メール（shinri-kouza@ml.n-fukushi.ac.jp）にて氏名とメール
アドレスを含めその旨お知らせください。但し、入金後のキャンセル（ご返金）はできません。
見逃し配信での視聴をお願いいたします。

プログラム（講師・演題・時間配分、途中休憩をいれます）

開会挨拶

○中川健史氏（NPO法人 仕事工房ポポロ理事長） —50分（質問含）—
（演題）ひきこもる若者などの生きづらさに寄り添い、共に生きられる社会をつくる
—仕事工房ポポロの実践から見えてきたこと—

○平野方紹氏（立教大学コミュニティ福祉学部キャリア支援講師） —50分（質問含）—
（演題）ひきこもりに社会福祉はどう向き合ってきたか
—社会福祉がひきこもり支援のニーズに応えるために何が必要か—

○自由討論 全体を振り返り、講師と参加者の質疑・討論 —45分～50分—

閉会挨拶